



# しらやま

白山小学校だより No.24

令和元年 1 1 月 5 日

## 第 2 学期 学校公開 ありがとうございました！



1 日（金）の学校公開にはたくさんの保護者の方に来ていただき、ありがとうございました。先月の学習発表会では、ステージ上でがんばるお子さんを見ていただきましたが、場所を変えた教室での様子はどうだったでしょうか。ステージ上と同様に意欲的に学習に取り組む姿を見ていただけだと思います。

2 校時には丹南ケーブルテレビのご協力のもと、不審者に対応する防犯教室（1～4 年生）がありました。マスコットキャラクターの「けーぶるん」も応援に来てくれました。防犯に関する DVD を視聴した後、実際に不審者に出会った時を想定した演習もありました。白山地区は安全だと決めつけずに、どうやって自分の身を守るかについてご家庭でもぜひ話し合ってみてください。

## ◇◇◇◇◇子どもが育つ魔法の言葉◇◇◇◇◇



1 0 月 3 0 日（水）、就学時健康診断のために来年度入学予定のお子さんたちと保護者の方が本校に来られました。来年の 4 月には、1 0 名の新 1 年生を迎えます。

健康診断と並行して行いました入学説明会の私のあいさつの中で、「お子さん自身が自分でできることを少しずつ増やして行ってほしい」ということをお願いしました。お子さんの姿からがんばっていることや少しでもできるようになったことをしっかりほめるのは大切であり、子どもはいい子になつたり悪い子になつたりして成長していく存在なんだということも話しました。最後に、『子どもが育つ魔法の言葉』（ドロシー・ロー・ノルト／レイチャル・ハリス著 石井千春訳 PHP 文庫）にある次の詩を紹介しました。

「子は親の鏡」  
けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引込みじあんな子になる  
親が他人を羨（うらや）んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、  
子どもは、この世はいいところだと思えるようになる

私自身もわが子と向き合っていて、子育ては思うようにいかないと思んだことがたくさんあります。つい感情的になつたり、子どもの言い分を聞かなかつたり・・・でも、子どもの姿を鏡として自分の言動を振り返り、子どもとともに成長できる大人でありたいと思っています。皆さんにとってもこの詩が少しでも参考になればと思います。